

町長の改革日記



大治から世界へ

2月28日(木)、名古屋市中区にあるカナダ領事館を訪問し、マット・フレイザー領事と国際交流に関して意見交換をしました。対話の中で「子どもたちにカナダの紹介や領事館の仕事についての話をしていただけないか」と領事に依頼したところ、快く引き受けていただき、今年5月に大治中学校で講演をしていただくことになりました。昨年は、元中日ドラゴンズの立浪さんに「夢」について講演をしていただきましたが、今年は子どもたちに世界にも目を向けてほしいという思いから、カナダ領事に来ていただくことにしました。さらに



●カナダ領事館を訪問

は、親交のあるエドワード元アメリカ領事にも来ていただくと思うています。国際感覚を身に付け、世界で活躍する大治の子どもたちが目に浮かびます。将来、この講演を聴いた中学生から外交官が誕生するかもしれません。

3月8日(金)、国会議事堂へ麻生副総理兼財務大臣と古屋国土強靱化担当大臣に「海抜ゼロメートル地帯防災特区」を提案してきました。私たちが住む海部地域は、ほぼ全域が海抜ゼロメートル地帯となっており、水害から地域を守るため、排水ポンプによる強制排水を行っています。しかし、

農地の減少による保水機能の低下や排水ポンプの老朽化による排水能力の低下が心配されています。そこで排水機場の更新整備などの防災対策をすすめるにあたって、さまざまな規制の緩和や財政支援をしていただけのように防災特区として指定していただきたいとお願いしました。国も地域における防災・減災の取組を支援するさまざまな計画があるということでしたので、海部地域だけでなく、愛知県の取組として大村知事の協力を得ながら活動していきたいと思っています。



●国会議事堂で麻生副総理兼財務大臣と

3月9日(土)、名古屋ウィメンズマラソンとともにナゴヤドームで開催されたファミリージョギングに大村知事と参加し、心地よい汗をかきました。参加者のみなさんと触れ合いながら軽快に周回を重ね、二人そろってゴールしました。参加した方がみんな笑顔で走り、ジョギングを楽しんでいるのが印象的でした。体を動かすことは健康増進やストレス解消につながります。みなさんも無理のない範囲で運動やスポーツをしていただき、みんながいいきと暮らすことができる元気なまちにしていきたいです。



●ファミリージョギングに参加

大治町長

岩本好広